

【テーマ概要】

公開日：2020年8月9日

インドネシア：政府によるパーム油認証の更新は先住民のコミュニティを土地奪取から保護するには不十分であるとオブザーバーが発見

著者：Hans Nicholas Jong、Mongabay（環境科学、エネルギー、グリーンデザインに関するニュースを公開する Web サイト）

「インドネシアのパーム油認証のアップグレードは不十分、とオブザーバーは言う」

2020年7月29日

インドネシア政府が計画しているパーム油の持続可能性認証プログラムの更新は、先住民のコミュニティを土地の略奪から保護したり、森林の破壊を防ぐには十分ではないことをオブザーバーが発見しました。

[…]

政府は現在、4月中旬に発行されるはずであったが Covid-19 のパンデミックのために延期されていた、インドネシアの持続可能なパーム油（ISPO）スキームの実施規則を起草中です。

しかし、英国に本拠を置く環境調査局（EIA）とそのインドネシアのパートナーである Kaoem Telapak による草案の分析によれば、延期してもなお、ISPO のさまざまな欠陥およびその中心的価値（原則と基準、P&C）に対処するには十分ではありませんでした。

彼らが分析を通じて発見した主なものには、社会保障措置、特に先住民族の権利が除外されている、そして、二次林は保護を保証する一種の自然景観として見過ごされ続けている、というものがあります。

[…]